

六三

毫摂寺で不思議なことがある

ごうじゅうほう

一向宗《浄土真宗》の毫摂寺というお寺がありました。そのお寺の

ごうじょうじ

表座敷ではときどき不思議なことが起きたといっています。

ある夜のこと、寺で住職に雇われて働いていたお坊さんが、その座敷で寝ていると誰かがゆすり起こします。何事か、と目を覚ましてみましたが、あたりには誰もおりません。しかし、天井に月のように光るものがありました。しばらくすると、その月のように光っているものはくるくると動きだし下へおりてきました。そして自分が寝ていた場所あたりまで下りてくるとあちこちに転がりまわります。

お坊さんはとてもびっくりしてすぐに逃げ出し台所までいくと、それまでのできごとを話しました。そして、皆で座敷へもどっていつてみましたが何も変わったことはありませんでした。

